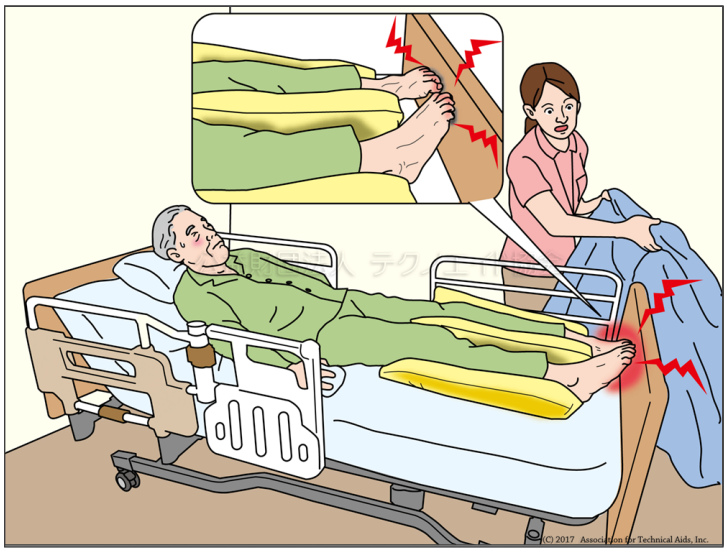
Case：326

フットボードに尖足（せんそく：足首が下向きに固まる）の足先があたり、褥瘡になりそうになる

場面の説明

大柄の身長を考慮してベッドを選定したが、20度背上げした状態で過ごす際に、尖足のためフットボードに足先があたり褥瘡になりそうになった



利用シーン	起居・就寝
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

大柄の身長を考慮してベッドの選定に配慮したが、背上げ状態で過ごす際に、足の尖足と、背上げ時の足元へのずれが考慮されておらず、足先がフットボードにあたって褥瘡になりそうになった事例です。住環境の広さにもよりますが、尖足による下肢長の延長や身体のずれも考慮したベッド長の選定が必要です。また、背上げ時に大きくずれないような介助方法、ずれたら戻す介助習慣をつける必要があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：尖足のため下肢長が伸びていた
モノ：ベッド長があっていなかった
モノ：背上げ時に足元へ身体がずれやすいベッドの状況があった
管理：背上げ時にずれない介助方法や、ずれた時に戻す介助方法を指導されていなかった

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.